



峰 楓 徽 章 と 仰 ぎ

第2号

【発行人 教頭(中原)】

「地域に拓く」～授業参観週間～

5月31日から6月3日にかけて、保護者の皆様はじめ、学校評議員、よりよい教育環境推進協議会、民生児童委員の皆様といった地域の方々にご来校いただき、授業参観週間を実施しました。たとえコロナ禍であっても、地域に学校を拓くことが大切だと考え、感染対策を講じながら実施しました。お忙しい中、ご来校いただいた皆様に、学校での生徒の様子から、次のような感想をいただきました。

いただいた声

- タブレット使用の授業で、教師が全ての生徒の回答を瞬時に把握でき、すごいと感じました。
音楽の授業では、絵画を見ながら想像力を養うことができ、重層的な学びができていて、いいなと思いました。授業の参観の際、立って見ていたら、後ろの生徒たちが気遣って椅子を出してくれました。優しい生徒たちでうれしく思いました。(民生児童委員)
- 懐かしく、1年生の4クラスを拝見しました。課題に直向きに向き合う子どもたちの姿と、各クラスの和やかな雰囲気、とても良い中学校生活をスタートしていると感じました。大変うれしく思います。今後とも、個に寄り添ったご指導を、どうぞ宜しくお願いします(よりよい・民生児童委員)
- 1年生の授業を2教室ほど見学しました。元気のよい子が多く、発言等が積極的で明るい生徒が多いと感じました。(よりよい・保護司)
- 5校時前、廊下ですれ違う生徒さんたちが元気に挨拶してくださり、うれしかったです。(よりよい・民生児童委員)
- マイチャレンジは分野ごと分かれていて見やすかったです。子どもたちの発想にも感心しました。授業は皆、熱心に取り組む、私自身も、数学の問題をドキドキしながら解きました。学校側にコロナ対策がしっかりしていてコロナになった方への見守る姿勢も感心しました。(民生児童委員)
- およそ10年ぶりに訪問させていただきました。生徒の皆さんは、相変わらず礼儀正しいですね。黒板に白墨のみではなく、電子黒板やプロジェクターを使っている授業風景には、時代の変遷を感じました。(民生児童委員)

生徒たちのよさを中心に肯定的にとらえていただいたり、社会や学校の変化をとらえながら柔軟に学校をお支えいただいたりしていることに学校として感謝しながらも、さらに生徒の持っているよさや探究力を十分に生かす学校になっているか、私たち教職員自身が厳しく自問しながら一人ひとりの生徒に寄り添った学校になっていく必要性を感じています。学校を常に拓きながら、地域の皆様と共に生徒たちを育てていけたらと思っています。



「ペーパータワー」5月の授業参観より

「高校との連携」～高校の先輩・先生方と語る会～

6月21日に、高校の皆さんのご協力のもと、3年生が「高校の先輩・先生方と語る会」を行いました。上伊那郡内の11の高校から計53名もの皆さんに参加していただき、高校ごとにブースを設置。本校の生徒たちが自分の興味関心に応じて自由にブースを選び、各高校での生活の様子を中心に熱心に聞いたり質問したりしました。



高校の先生方のお話を聞き、さらに、伊那中を卒業した先輩方が、どんな高校生活を送っているのか、「こんなところが高校のよさだよ」と熱く語る先輩の姿に、「高校生の魅力」を感じ取ったのではないのでしょうか。

中学生

- ・〇〇高校には8コースあって、フードコースの人たちに話を聞いたけど、ジャムや味噌、ケチャップなどを作っていて、育てるのから販売するものまであって、すごい楽しそうだった。
- ・「自ら学ぶ」感じがすごくいいなと思った。勉強も「探究の授業」があったし、ただ勉強するのではなく、「人のために学ぶ」ことを求めている、レベルが高いと思った。生徒の皆さんが学校を楽しんでいるという話が聞けてよかった。

高校生

- ・自分の経験が中学生の参考になるのかどうか不安だったが、中学生の皆さんが真剣に話を聞いてくれてありがたかった。お世話になった中学の先生方が温かく迎えてくれて、その場では笑っていたが、本当は涙が出そうになった。
- ・普段、特に意識せずに高校生活を送っていたが、高校のよさを中学生の皆さんに話す機会を得たことで、改めて高校に通うことができていることに幸せを感じた。中学生の皆さんから質問をたくさんいただいた。偉そうに答えてしまったが、後輩に言ってしまった以上、自分自身も頑張らねばと思う。

高校生とのコラボは、中学生はもちろん、高校生にとっても大切な学びの機会になったようです。中学での学びと高校での学びが連続してつながっていく。生徒目線で、大きな視野をもって子どもを育てることが今、求められています。そして、子どもの育ちが「園～小学校～中学校～高校」とつながっていくよう、互いに連携し合う取組を、創造的に生み出していきたいと思っています。

お知らせ



例年になく暑さが続いています。コロナ禍ではありますが、熱中症対策として、次のように、子どもたちへ指導していますので、ご承知おきください。

① 登下校時のマスク

- ・登下校時はマスクを外すことができます。ただし、近距離(概ね2m以内)で会話する場合は気を配ってください。

② 水分補給

- ・水筒を持参するなどして、こまめに水分補給をしてください。

③ 服装による調節

- ・気温に合わせ、半袖・半ズボン等を選択し、服装を調節するようにしてください。

夜間・休日の電話対応について

コロナへの感染は依然として広がる可能性があります。家族に風邪の症状が出た場合には、生徒の登校を控えていただくとともに、家族が感染者や濃厚接触者となったり心配事が生じたりした時には、下記の通り対応しておりますので、遠慮なくご連絡ください。

(1) 電話対応 平日7:50～19:00

(2) 夜間や休日における連絡先【伊那中学校緊急連絡電話】 070-4127-6087

なお、保護者からの欠席連絡が、オクレンジャーを使ってできます。対応時間は6:00～8:30です。